Vinci

上井草フリーマガジン／ヴィンチ

スポーツの丘

vinci インタビュー

早大ラグビー蹴球部
中竹竜二 監督

ヴィンチ 03
2009. 11
take free

© Vinci

上井草の日常をこのまちに関わるすべての人々と共有すること。
誌面を通じて上井草を再発見すること。
Vinci にはそんな願いが込められています。
＊
「レオナルド・ダ・ヴィンチ」とは「ヴィンチ Vinci 村のレオナルドさん」という意味。
この村名 Vinci はイタリア語の Vinchi(い草) に由来するそうです。
上井草にもルネサンスが興りますように。

Vinci 03　2009.11

井草の馬場　０１

Vinci インタビュー
早大ラグビー部監督 中竹竜二さん　０２

スポーツの丘　上井草スポーツセンター　０６

まちのアスリートたち　１０

Igucer　１２

かみいぐさ雑木みちプロジェクト　１３

ボールドタイム
(ボーちゃん)

表紙イラスト / 祖敷大輔
79 年生まれ。武蔵野美術大学卒。ラジオ大好きイラストレーター。元メッセンジャー。www.soshikidaisuke.com

井草の馬場

上井草駅から南へ徒歩十分ほどの都立農芸高校。この高校に馬術部があることはご存知ですか？

高校馬術競技大会で好成績をあげる同部には、2頭のサラブレッドがいます。芦毛（あしげ）のブルーミングメモリー（上写真）。鹿毛（かげ）のボールドタイム（右頁）。それぞれシーちゃん（白いので）、ボーちゃんの愛称で親しまれています。

厩舎は早稲田通りの南側・今川町ですが、練習のために北側・上井草にある馬場へ出掛けていくため、部活動の日は、パカパカとのどかな蹄の音が聴こえてきます。西武新宿線沿線には、高田馬場とともに「井草馬場（vinci編集部命名）」があるのです。

早稲田大学ラグビー蹴球部 監督
中竹竜二（なかたけりゅうじ）さん

Vinci インタヴュー

※大阪・近鉄花園ラグビー場で開催される全国高等学校ラグビーフットボール大会。
通称「花園」(はなぞの)。ラグビーの甲子園とも呼ばれる

いまや伝説として語り継がれるカリスマ・清宮克幸 前監督の後をうけて、平成18年以来早大ラグビー部を率いる中竹竜二監督。新時代のリーダーが語ります。

ラグビーとの関わり

中竹　出身地の福岡はラグビーが盛んでした。小学生のとき近所のラグビースクールに入ったんです。しかし高校時代には、自分がさほど良い選手でないことが分かっていました。体もぼろぼろでしたから、高校を最期にラグビーをやめるつもりでした。その節目として※「花園」へ行ければ悔いなくラグビー人生を締めくくれる、という思いでがんばりましたが、結果はまったくだめでした。そのときの悔いが残って、一度入った福岡大学をやめて、ラグビーをやるためもう一度早稲田大学に入り直したんです。

―人生に筋を通そうとする意志を当時からお持ちだったわけですね。

中竹　いや、むしろ逆だったと思います。予定変更ばかり、行き当たりばったり、でしたから。早稲田でも、そもそも高校時代でラグビーをやめようとした位でしたから、選手としては全然だめで、3年生まで1回もレギュラーになれませんでした。

―でも、主将になられたんですよね。

中竹　早稲田ラグビー部のおよそ90年の歴史の中で、レギュラーでない部員が主将になったという例は初めてだと思います。かねて4年生のリーダーは次の主将を選んでからやめるのが習わしで、実は僕ではない別の部員が主将に選ばれていたんです。当然ながら、それは1年生から活躍して来た有名選手でした。すると36人いた同期のほとんどが、選ばれた本人のいる前で、中竹じゃないとやらないといってボイコットしたんです。基本的に僕は人を引っ張っていくタイプではありません。むしろ人の話を聞いて、組織としてどうするかを考えて、みんなを手助けしていくほうです。今でも変わりないのですが、それをたぶん同期の皆は評価してくれたのでしょう。

―皆さんがそういうお気持ちになるということは、中竹さんが説得力のある言葉を持っていらっしゃったということですね。

中竹　自分が考え出した言葉や意見というのはほとんどなくても、編集したり応用する力が、同世代の人間の中であるいは長けていたかもしれません。世の中には真にオリジナルな考えというものはないに等しいですから、それをいかに組み合わせるかが大事ですね。

―名選手が必ずしも名監督ではないということはよく言われます。中竹さんはチーム全体を見る事の出来る立場にいらっしゃったわけでもありますね。

中竹　それしか出来なかったですね(笑)。プレーもだめ、引っ張

中竹 竜二 (なかたけ りゅうじ)
[早稲田大学ラグビー蹴球部監督]

1973年福岡県生まれ（36歳）。早稲田大学人間科学部に入学し、ラグビー部に所属。同部主将を務め、大学選手権準優勝。卒業後英国に留学。ロンドン大学で人類学、レスター大学修士課程で社会学を専攻。帰国後、（株）三菱総研に入社。教育政策、地域活性化、人材育成に従事。2006年に三協フロンテア（株）に入社し、母校ラグビー部監督就任。大学選手権２連覇を達成。

ることもできず、オリジナルのアイディアもない。何をやるかというと、まあ、お母さん役ですよね。世話役ですよ。

イギリス留学

ーその後、留学をなさったのはどのようなお考えから？

中竹　日本の会社で働くとなると、「ワセダラグビー部で主将をやっていた」として期待されるに違いない。この罠にはまってはダメだと考えて、イギリスに行きました。永住したいほど魅力的な国でしたが、留学の実態はイメージとは全然違い、現実逃避目的の日本人が大半でした。これはまずいと思い、ロンドン大学へ移り文化人類学を学んで幸いにも評価を得ました。その後、社会学を究めようとレスター大学に入ったんです。まさか社会学をやって帰って来るとは考えていなかったです（笑）。ラグビーとは縁を切ったつもりでした。

就職・まちづくり

ー日本で暮らそうと思いなおされて帰国し、就職されたのですね。

中竹　27歳のときでした。三菱総研に5年間勤めて、まちづくりや地域活性化に関する仕事をしていました。全国の地域の活性化をされた方にインタビューしたり、そのプランの報告書を作ったり。経済産業省や総務省とつながりのある部署でした。思いがけず、ラグビー部監督就任の話がきたのはその頃です。僕が主将になった経緯なども清宮さんはご存知だったみたいで、僕がやると人が集まって、自主的な動きが生まれるのではないかという期待があったかもしれません。僕のラグビーの指導力については未知数だったと思います（笑）。プレイヤーとしても大学で終わっていますし、ブランクもありましたから。

フォロワーシップ

中竹　ラグビーは試合が始まると

Vinci インタヴュー

イラスト / 祖敷 大輔

基本的に監督の指示は届かない。選手は自分たちでやるしかない。だから僕の方針としては、練習中から選手たちで考える、ときには練習メニューも自分たちで考える、ゲームプランも選手たちに考えてもらう。僕はそれらをサポートするだけです。選手の方が優秀だし、いいアイディアを持っている。ダメなリーダーを優秀なフォロワーで引き上げて行ってチームを強くするという作り方しかないので、みんなに申し訳ないな、と思いながらやっています。最近はあんまりグラウンドにも行かない(笑)。実は今も練習やってるんです(笑)。今の日本のリーダーは、リーダーしかできないことをどんどん勉強して成長していってしまうので、かえって周りが育ってこない。組織の中でも、僕しかできないことを極力減らすようにしています。ただし、最終決断は僕がやる。失敗したときは誰の責任になるのかと言えば、考えた方の責任ではなくて、任せた者の責任。そこだけは全部引き受けるようにしています。

これからも街の皆で早大ラグビー部を応援します。上井草のまちづくりにも是非お力をお貸しください。

関東大学対抗戦　vs 明治大学　12/6 (日) 国立競技場　14:00 キックオフ

最新情報は早稲田大学ラグビー蹴球部公式サイト　http://www.wasedarugby.com/

早大ラグビーを応援しよう！
『かみいぐさ冬市』開催　11/29(日) ～ 12/6 (日)

上井草商店街では、早明戦に合わせて『かみいぐさ冬市』を開催！早大ラグビーとガンダムがコラボした「上井草 SD ガンダム」グッズ他、レアな景品が当たる抽選キャンペーンを実施します。
上井草でしか手に入らない限定オリジナルグッズを GET しよう！
詳しくは店頭ポスターや上井草商店街 web サイトをご覧下さい。

スポーツの丘
おか

都内最大級の規模を誇る上井草スポーツセンター。人工芝グラウンドでは、野球なら同時に4試合が開催可能です。良く晴れた朝夕などには、西の地平線に遠富士の姿が見えることも。

上井草のスポーツオアシス

都内でも有数の大型スポーツ施設がここ上井草にあります。

駅から徒歩5分ほどの『上井草スポーツセンター』は現在、TAC、FC東京、MELTEC の3社・事業共同体により運営されています。利用者数は1日平均1700人～3000人（平均約5万人／1ヶ月）。近隣のみならず、遠方からの利用客も。開館以来多くの方々に利用され愛されています。

毎日近隣や遠方から多くの利用客が訪れる

開放感あふれる屋外グラウンドは、野球、サッカーはもちろん、多目的に使える広さ。10月には第2回「すぎなみ舞祭」も開催されました。いざというときの広域避難所にも指定されています。

人工芝テニスコートにはナイター照明も完備。また弓道、アーチェリーが利用できる本格的な弓道場もあります。

屋内には温水プールと大小の体育室の他、トレーニングルーム、こどもの広場（未就学児童対象・無料）、会議室、喫茶軽食「てんとう虫」なども充実。スポーツの秋、だけでなく、ここでは一年中快適にスポーツを楽しめる環境が揃っています。

現在の上井草スポーツセンターがある場所に、昭和十一年、完成した上井草球場（正式名称：東京球場）は、東京で初めて生まれたプロ野球専用球場でした。当時、あの沢村栄治選手もここでプレーしています。

上井草スポーツセンター

杉並区上井草 3-34-1
西武新宿線 上井草駅から徒歩 5 分
利用時間　9:00 ～ 21:00
月～土 プール・トレーニングルームは
22:50 まで (日・祝は 20:50 まで)
ジョギングコースは早朝 6:00 ～利用可
休場日　毎月第 3 木曜・年末年始
お問い合わせ　03-3390-5707
www.kamiigusa-spocen.net

旧上井草野球場　昭和 21 年　　沢柳政義氏ご遺族提供

スポーツの丘

イラスト / 桑原 紗織

スポーツの丘

かみいぐさでスポーツを楽しむ。

上井草スポーツセンター館内マップ

まちのアスリートたち

いつもは商店街の働き手。
でもところ変われば スポーツ選手に大変身！
かみいぐさのアスリートたちをご紹介。

ICE HOCKEY

デイリーショップフザワ
布澤 隼人さん

普段は集配業務をこなす布澤さん。笑顔が素敵です

生まれも育ちも上井草という布澤隼人さん。熱心な野球少年でしたが、井草中時代に肘を壊してしまいました。高校入学後、友人に連れられて東伏見にアイスホッケー部の練習を見学に行ったところ、それだけで入部扱いされホッケー入門。とはいえ、今やホッケー歴15年のベテランです。東京社会人チームの名門「ヴァンガーズ」のメンバーになって8年目。東京大会で1位。関東大会優勝。全日本選手権3回戦出場。ベスト16。ポジションはフォワード。

東伏見での月2回ほどの練習をこなしながら、ご両親の経営するデイリーショップフザワのスタッフとして、クリーニングの集配業務ほかを担当しています。

絶妙なコーナーワークとスティックさばき！

普段は白衣姿の堀井さん。ばっちり決まってます

ホリ艸薬局

堀井 健司さん

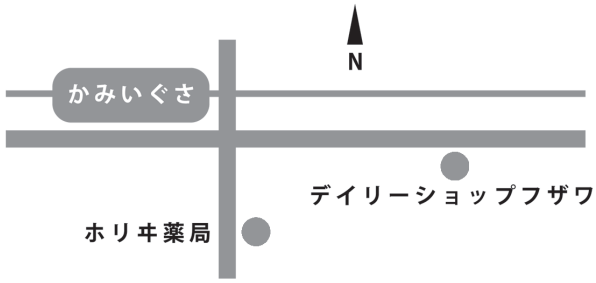
大阪、東京で会社勤めを経験した後、平成になってから堀井薬局の2代目を継いだ堀井健司さん。大学の後輩がトライアスロン参加のため堀井さん宅に泊まった際にすすめられ、86年日本トライアスロンに初参加。以後、アイアンマンタイプ（別名ロングタイプ）。

泳ぎ3.8km→自転車185km→ランニング42.195km）50レース他に参加。また年1回のハワイアン・アイアンマン・ワールドカップにも2度の出場経験あり。コナウィンドと呼ばれる強風の吹き渡るなか、10時間を要する鉄人競技はおのずと夜間に及びます。満月の光だけが頼りのゴール間近の沿道には観客が待ち構え、順位の区別なく熱い拍手を浴びた経験が忘れられないといいます。

Vinci 編集部では到底ありえない気力と体力。まさに鉄人！

デイリーショップフザワ（東通り）
上井草 2-37-11 / 7:30 ～ 20:00
木曜定休 / 03-3395-0238

ホリ艸薬局（南通り）
上井草 2-35-6 / 9:00 ～ 19:00
日曜定休 / 03-3395-2200



TRIATHRON

Igcer
イグサー

Igucer のヘッドマーク。当時の貴重な資料を見せていただきました。

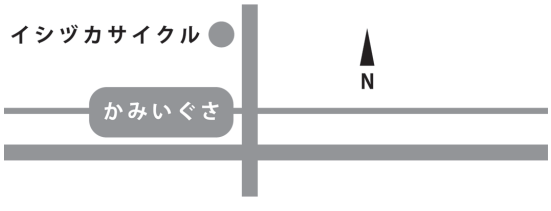
2 代目の石塚さん。サイクルトレインの普及を願っています。

イシヅカサイクル (北通り)

井草 5-5-26 / 平日 10:30 〜 19:00、祝祭日 10:30 〜 18:00 日曜定休 / 03-3390-5644 / www.ishizuka-cycle.com

北通りにある「イシヅカサイクル」は昭和 24 年創業。そのころ周辺には、商店が数軒しかありませんでした。第一次サイクリングブームの昭和 30 年頃、同業数軒の共同でオリジナルブランドのスポーツ車を企画制作。上井草の同店では、地名にちなんで「Igucer(イグサー)」号と命名されました。

現在この Igucer に乗ることはかないませんが、スポーツ車のエントリーモデルを中心に、ロードレーサー、マウンテンバイク、ツーリング車、街乗り、折り畳みなど豊富な種類を取り扱っています。



かみいぐさ
雑木みち
project

上井草駅前(南口)の植栽が変わりました

上井草駅南口に小さな雑木林が新たに生まれました。足下に散らばる木漏れ日がおのずと季節を告げています。「株立ち」の効果により空間の奥行きが増したと、駅利用者の評判も上々です。この植栽は、まちづくり団体「まちづくり上井草」の推進する雑木みちプロジェクトの一環として、西武鉄道、杉並区のご協力・ご支援のもとに実現しました。今後の管理は上井草商店街が行います。剪定など管理費用に地域住民の皆様のご支援をお願い申し上げます。

位置を決める「水決め」作業

『かみいぐさ雑木みち project』では上井草地域の道沿いに株立ちの雑木を植えてくださるご家庭を募集しています。また、上井草商店街の店頭にシマトネリコの鉢植えと、草花プランターを置くスペースを探しています。ご相談・お問い合わせは、まちづくり上井草まで。
green@genro.co.jp

上井草商店街振興組合 新規加入店募集中

詳しくはメール で上井草商店街 info@kami-igusa.com まで。または各通りの理事へ直接お申し込みください。

Vinci からのお知らせ

上井草のむかしの写真や資料を探しています。選考のうえ今後の誌面でご紹介させていただきます。ご連絡ください。Vinci に関するご意見・ご感想は まちづくり上井草 green@genro.co.jp まで。

上井草フリーマガジン　Vinci　03
発行　上井草商店街振興組合　http://www.kami-igusa.com/
編集　同広報部
協力　まちづくり上井草
印刷　有限会社 佐藤機工

© Vinci